

団体名：東中野五丁目小滝町会

最終提案プレゼンテーション

2020年 12月 3日



内容

1. 小滝町の皆さんの期待について
1. 小滝町の理想像
1. 戸建て町会費集金について
1. 新たな集金体制案
1. 小滝町としての理想像に向けて
1. 最後に

1. 小滝町の皆さんの期待について

◆ご要望◆

現在手集金で行っている町内会費の集金について、多様な集金方法を検討することで集金するひと、されるひと双方に負担が少ない方法を模索したい

◆背景にある思い◆

- ・ 集金を通じて、住人ひとりひとりとコミュニケーションをとることを大切にしてきており、これからもそうしたコミュニケーションを大事にしていきたい
- ・ 一方で集金担当の方の高齢化、コロナ禍、住民の生活スタイルの多様化のなかでも、多様な集金方法を設けることで、町内の人々をゆるやかにつなぎ留めたい
- ・ 夢のある話があるとよい

今回のご提案

小滝町がどのような姿を目指したいか（=理想像）を踏まえた
集金方法およびコミュニケーションのあり方

2. 小滝町の理想像

「ゆるく、ひろく、ながくつながる町へ」

◆ヒアリングで分かったこと◆

- ・小滝町は昔からつながりの強い町。小学校閉校などの危機がありながらも自発的な活動でつながりを保ってきており、町の人たちもそれを誇りに思っている。
- ・小滝町の活動をポジティブにとらえ、積極的に関わっている人も多い。一方で、その活動は一部の人の支えにより成り立っている部分も大きい（特に町内会メンバー）。集金活動に関して同様。
- ・つながりたい人、町の活動に興味はあるが様々な原因で踏み出せない人もいる。



ゆるく（できる人ができることをできるタイミング／できないタイミングで言える）

ひろく（一部の人に依存しない）

ながく（世代が変わってもこの町のいいところを引き継いでいける）

つながる町活動を目指すことがゴールと考え、その一部に集金活動を位置づけて考えるのが良いと考えます。

2. 小滝町の理想像

「ゆるく、ひろく、ながくつながる町とは」

ゆるく

町会員と運営側の垣根が低い

町内会の垣根が低い

町内会員としての負担が低い

ひろく

コミュニティ同士のつながりが増える

コミュニティが増える

町内会の内と外をつなぐつながりが増える

ながく

長く住み続けたい、続けられる

いろんな世代が住みやすい

町内会が持続可能である

ゆるく、ひろく、
ながくつながる
町ってどんな町
だろう？



2. 小滝町の理想像

集金活動の手間を段階的に減らしつつ、その分多様なコミュニケーションの機会を用意することで、目指す姿を実現できるとよいと考えています。

現状

移行期

成熟期

集金

- ・ 現金による手集金
- ・ 毎月集金担当者が訪問
- ・ 集金対象者は月ごとにばらばら

- ・ ステークホルダによって多様な回収方法

コミュニケーションの機会

- ・ 町内会メンバー主体のイベント
- ・ あいさつや回覧板、集金など、昔からのコミュニケーション

- ・ 現状のコミュニケーションを保ちつつ、さらに多様なターゲットを巻き込んだイベント／コミュニケーション

3. 戸建て町会費集金について

ヒアリングから見えてきた課題

<集金する側>

- 1軒ごとに訪問する手間がかかる。
- 毎月回収すべき世帯があり、またその件数にばらつきがある。
- 後継者が見つかりにくい。
- 管理が担当ごとの方法で行われていて、進捗状況がわかりにくい。
- 情報の一元管理がされていない。

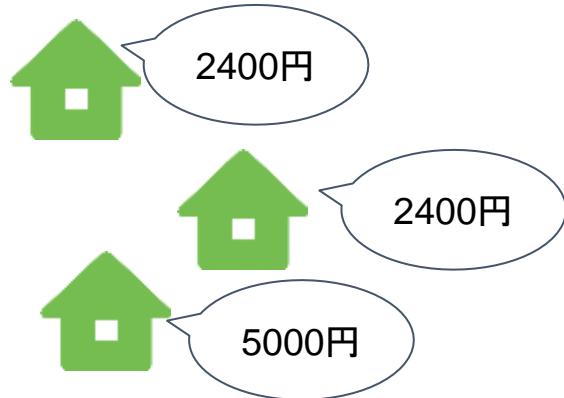
<集金される側>

- 訪問されることに対して申し訳なさがある。
- 町内会に入会する際に、口頭での説明だけでは町内会の全体像がつかめない。
- 町会費の用途がわかっていない（会計報告は回覧しているが、回覧が回らない世帯もある）
- 現金以外の集金方法があると便利。

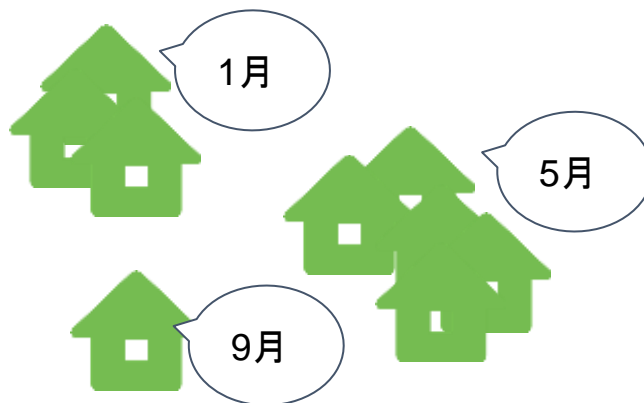
3. 戸建て町会費集金について

現状と課題のまとめ

○集金金額が世帯によって異なる



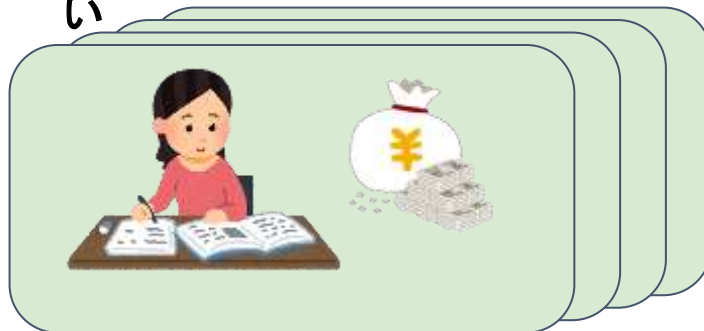
○集金時期が世帯によって異なる



○訪問が負担



○集金の情報が一元管理されていない



信頼できる集金担当者にお任せして
いて安心だけど、
状況はどうなっ
ているのかな



3. 戸建て町会費集金について

目指す姿

町会役員

集金の状況が確認できる

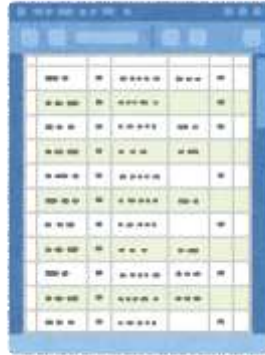
集金担当

他の人をお願いできそう

町会員

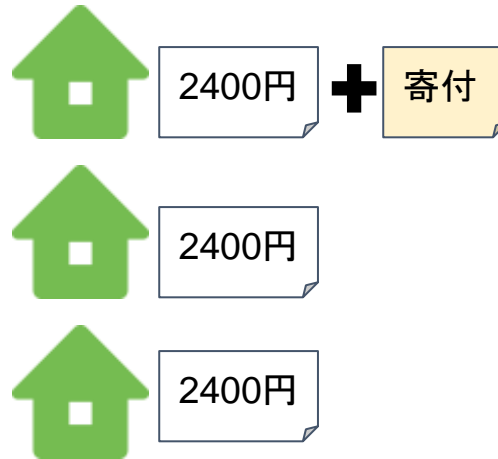
支払い方法が増えて便利

①情報の一元化、データ化 ③-1支払い時期の統一



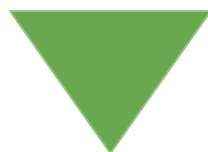
③-2支払い方法の多様化、手集金の負担削減

②町会費の統一

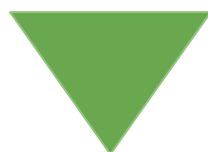


4. 新たな集金体制案

ステップ1 集金情報の一元化・データ化



ステップ2 集金金額の統一



ステップ3 集金方法の多様化

一支払い方法の選定

一支払い時期の統一

4. 新たな集金体制案 ステップ1

ステップ1 集金情報の一元化・データ化

集金に関する知識／情報をエクセル等に集約する

お名前	班	集金担当	支払日	金額	備考
〇〇さん	1	△△	2020/10/1	¥2400	お一人暮らし
◇◇さん	1	△△	2020/11/1	¥2400	平日昼間不在

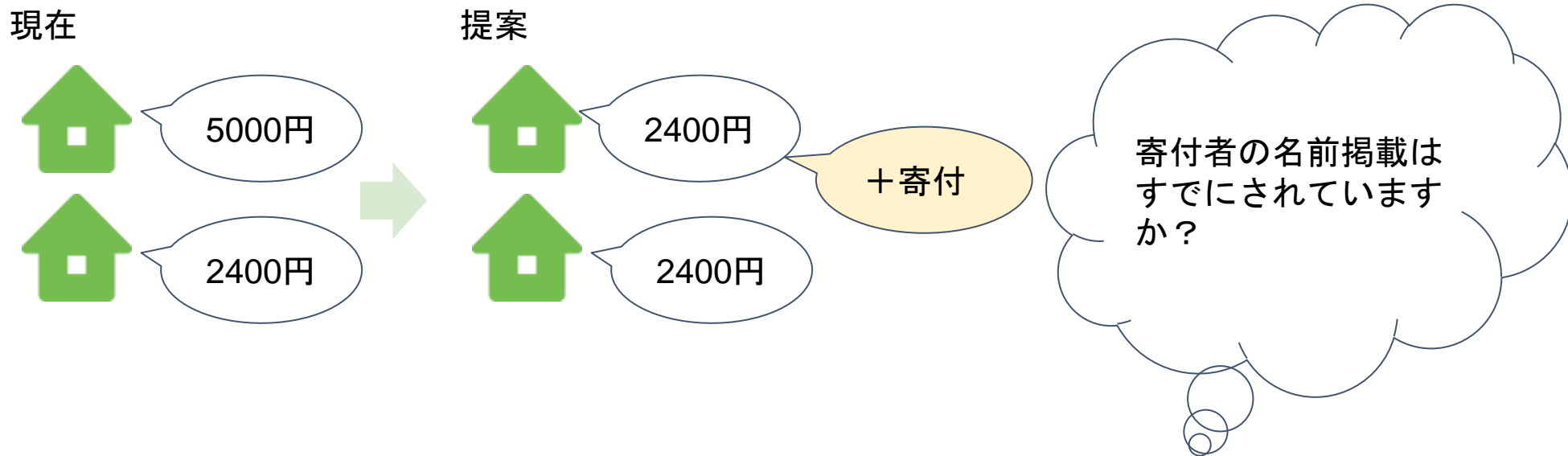
⋮

データ入力作業は町内で得意な方を募ってみては？

4. 新たな集金体制案 ステップ2

ステップ2 集金金額の統一

戸建ての町会費は2400円／年に統一し、お気持ちは寄付扱いにする



4. 新たな集金体制案 ステップ3 (1/4)

ステップ3 集金方法の多様化

	必要なもの（こと）	メリット	デメリット
現金	集金する人 おつり、領収書 支払う人 現金	<ul style="list-style-type: none">・コミュニケーションがとれる・確実に支払ってもらえる	<ul style="list-style-type: none">・現金管理の問題・接触機会が増える（コロナ禍）
振込	集金する人 振込先情報の周知 支払う人 銀行口座	<ul style="list-style-type: none">・現金を扱う必要がない・訪問する必要がない・各自のタイミングで支払える	<ul style="list-style-type: none">・コミュニケーションがなくなる・これまで支払ってくれていた人が支払わなくなる可能性
PayPay	集金する人 支払用QRコードの発行、周知 支払う人 スマートフォン Paypayアカウント	<ul style="list-style-type: none">・これまで支払っていなかった人で支払ってくれる人もいるかもしれない	<ul style="list-style-type: none">・振込手数料がかかる（振込）・ITリテラシーの問題（PayPay）

4. 新たな集金体制案 ステップ3 (2/4)

PayPay (ペイペイ)

スマートフォン決済サービス

[PayPay - QRコード・バーコードで支払うスマホ決済アプリ](#)

スマートフォンでQRコードを読み取ることにより支払が可能なサービス



4. 新たな集金体制案 ステップ3 (3/4)

■移行方法の一案（支払方法の多様化とともに時期の統一）

2021年度		2022年度		
月	回収額	回収額	集金作業	具体的な作業
4月	2400円	2400円 ※途中 入会の 人は 月割額	支払う人からのアプローチによる集金	・現金振込
5月	2200円			・回覧板にQRコード
6月	2000円			・センターにQRコード
7月	1800円			・イベント時にQRコード
8月	1600円		入金額確認作業	
9月	1400円			
10月	1200円		集金する人からのアプローチによる集金	・現金による訪問回収
11月	1000円			（これまで通りの方法）
12月	800円			（QRコードをもっていく）
1月	600円			
2月	400円	回収額確認作業	・PayPay支払についての	
3月	200円	年度取りまとめ	勉強会を開催する等	

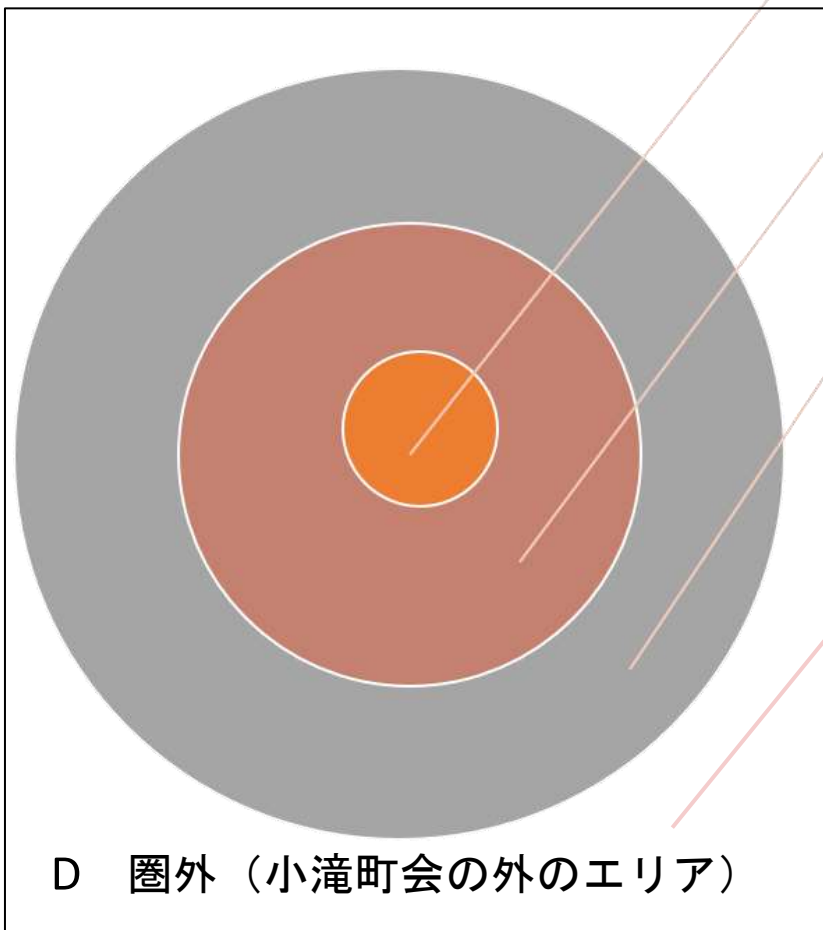
4. 新たな集金体制案 ステップ3 (4/4)

■移行方法案のポイント

- ◆集金における対面でのコミュニケーションが重要な方（主に高齢単身者）については、今後もこれまで通りの集金方法も継続可能（これまでのコミュニケーションは消えない）
- ◆現状、信頼関係の必要な仕事で後継者が見つかりづらいが、電子決済を利用して負担が減ることにより担当者の幅も広がる
- ◆集金方法を変更した人（主に新規居住者、若者）は、別の形でコミュニケーションを維持する（コミュニケーションの方法は以降のスライドでご提案）

5. 小滝町としての理想像に向けて

町内会を構成する3つの人材



A 地域活動者 (役員・集金担当者)



地域への関心を高め、地域活動に
いざなっていく

B 地域行事への参加者 (イベント参加者)



地域行事への参加者を増やす

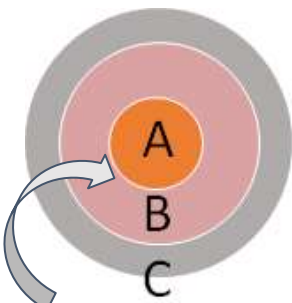
C 地域に無関心な層

D 圏外 (小滝町会の外のエリア)

【出典】「どこまでやるか町内会」紙屋高雪 (ポプラ新書)

5. 小滝町としての理想像に向けて

①D（圏外） → より中心へ（AもしくはB）



D:圏外

A：地域活動者

B：地域行事への参加者

↑
圏外

他の地域から新規で入居された方



「町内会」という概念になじみのない新規居住者でも、ハードルや不安を感じず、安心して町内会の一員となれば、より中心にちかい人財となっていく

5. 小滝町としての理想像に向けて

①D (圏外) → より中心へ (AもしくはB)

入居時スターターキット

- ①小滝町会の案内
- ②小滝町会に関するQ&A集
- ③決算報告書
- ④ゴミ回収ルールや公共施設などをまとめた資料

町内会の◎◎です。
ご不在でしたので、あらためます。
☎区民活動センター
03-XXXX-XXXX

1 小滝町町内会

どんなことをしている？

- 毎月様々なイベントをしています！
是非一度お遊びに来てください！
- お餅つき大会 3月
- 桜のぼりパーク 4月
- 朝寝坊ラジオ体操 7月
- 氷川神社例大祭 9月
- おかのらフェスタ 10月
- 防災訓練 11月
- などです。

※こちらはイベントの一部です。
詳しい情報はHPをご覧ください。

会費について

戸建ての方： 200円/月
集合住宅の方： 100円/月

★収支の詳細はHPにて掲載

コンタクト先

東中野区民活動センター運営委員会
中野区東中野5-27-5

☎ 03-3564-6795
✉ nakano_higashi@jewel.ac.jp
🌐 <http://otakishi.jindofree.com/>

**ゆるく、ひろく、ながく
つながる町**

小滝町会は、この町を愛するメンバーがそれぞれの状況やライフステージにあった様々な関わり方ができる町会です。

自分たちの町をよりよくするための企画をしている時が一番ワクワクします！

会費の集金を毎月行っていますが、皆さんとのつながりを感じて、楽しいです！

いろいろなイベントを、子供と一緒にお手伝いしています。イベントをとおして、家族ぐるみの付き合いができる仲間ができました！

町のみんなの役に立ちたいなー

得意なデザインのお手伝いをしていますが、この町のことをより知れて、つながりも増えて、好きになりました！

ゆるく
ひろく
ながく

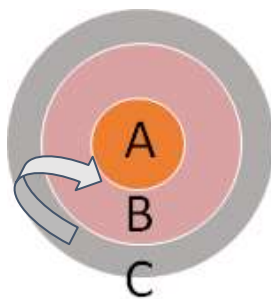
A

小滝町会

3

5. 小滝町としての理想像に向けて

②地域行事への参加者を増やす (C → Bへ)



B : 地域行事
への参加者

↑

C : 地域に無
関心な層

特に単身高齢
男性、外国人、
ディンクスの方
を想定

イベント参加のハードルをさげる

→顔見知り、町会について知ってもらうきっかけに

①参加していない人への周知

- ・ SNS、駅や町内の掲示板（全般）、引き続きの声かけ（高齢男性）

②参加しやすいイベントづくり

- ◆ これまであまり参加できていない層をターゲットとする

例) おじいちゃんとお父さん参加の銭湯イベント

おじいちゃん&パパ向け男の料理教室

- ◆ すでに日常行っていることを取り組みとして生かす

例) 散歩やウォーキング、朝のラジオ体操を兼ねた防犯見守り隊

- ◆ 幅広い層が予約なしでも手軽に参加できイベントを増やす

例) 食のイベント、盆踊り、音楽イベント

5. 小滝町としての理想像に向けて

②地域行事への協力者を増やす (B→Aへ)

双方にメリットがあり、興味を持ちやすいイベントで
世代を越えたコミュニケーションを増やす
→困った時に声をかければ手伝ってくれる人を増やす

【話し場作り】

- おばあちゃんによる赤ちゃん計測 & お昼寝アート
- おばあちゃんによるお料理お菓子教室
- ママによるスマホ、LINE、PayPay講座

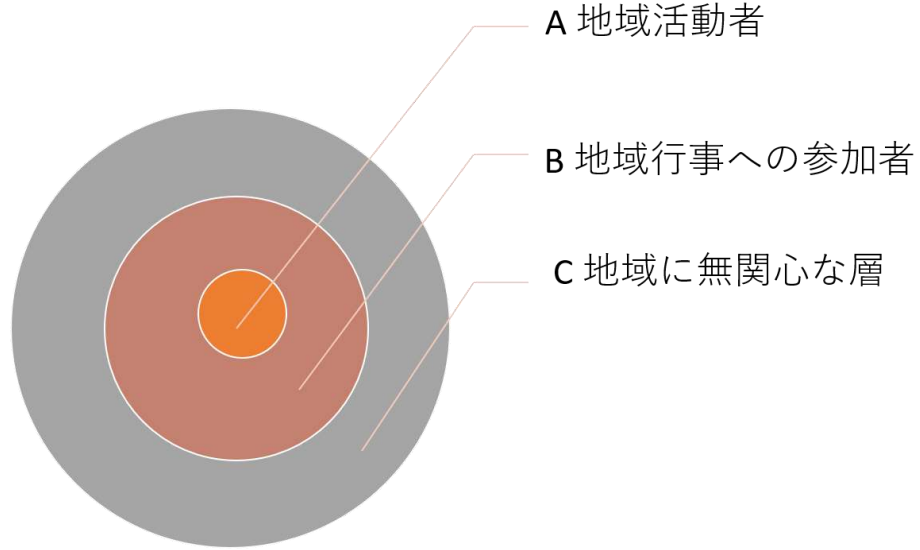


A : 地域活動者
↑
B : 地域行事への参加者

特にシニア、
パパ、ママ、
ITリテラシー
のある方を想定

5. 小滝町としての理想像に向けて ③BとAの境をなくす

人材獲得ステップ図



長年A層で活躍
している人

そろそろ交代したいけど、
簡単に引き継げる仕事では
ない。



B層の関心の高い人

お手伝いしたい気持ち
もあるけど、やるって
なったら本格的にやら
なきゃいけないさそうだ
し大変そう・・・

【出典】「どこまでやるか町内会」紙屋高雪（ポプラ新書）



**A層とB層の境目をはっきりさせず、B層の人で町会の運営に
関われる人を増やしていく。**

5. 小滝町としての理想像に向けて

③BとAの境をなくす

町内会タスクを見える化することで、町内会員の負担を平準化し、持続可能な町内会を目指すことができる。

例、氷川神社例大祭

大項目	中項目	小項目	現状の担当者	稼働	他の人でも対応可能か（○、△、×）	
事前準備	物品関係	お神輿・山車の担ぎ手募集	岸さん	3時間	×	
		お神輿・山車の手入れ	岸さん	1時間	○（〇〇さんをお願い）	
		法被の用意	内田さん	1時間	△（全ては任せられないが一緒になら可）	
		法被の貸し出し	内田さん	8時間	○（〇時～〇時〇〇さん、〇時～〇時〇〇さん）	
		お茶菓子等の買い出し	・・・			
		幟の準備				
		広報	ポスターの作成			

5. 小滝町としての理想像に向けて

③BとAの境をなくす

見える化と共有により・・・

①今まで町会役員の方々が担っていた仕事に興味を持ち、できることで関わりたい人が出てくる

②多くの人を巻き込むことで、役員と町会員のコミュニケーションが取りやすくなり、役員の仕事の後継者候補も見つけやすくなる



岸さん

町会の仕事を手伝っていただくのは、イベントなどに参加するハードルをあげてしまうのではないかな・・・



B層の関心の高い人

お手伝いしたい気持ちもあるけど、やるってなったら本格的にやらなきゃいけないさうだし大変そう・・・

見える化 & 共有



B層の関心の高い人

私はデザインが得意だからお手伝いできるかも！しかも、3時間くらいポスターの作成なら仕事との都合もつくな！



B層の関心の高い人

仙石さんと仲いいから、仙石さんのお手伝いならやってもいいかな～

6. 最後に

「この町にずっと住み続けたい」

「素敵な町なので、もっとよくしたい」

「（地域とのつながりのある）小滝町に住んでいてよかった」

私たちがヒアリングさせていただいた際、印象に残った言葉です。

小滝町のこれからの発展を
すこしでもお手伝いできたのであれば嬉しいです！

